

特別支援学級 自立活動指導略案

自閉症・情緒障害特別支援学級（あすなろ学級2組）
8人（4年男子4人、女子1人、5年男子3人）
指導者 久永 貴代美

1 活動名 考えをまとめよう

2 活動の目標

- 相手の考えを受け止めたり、自分の考えを伝えたりすることができる。
- 大切なポイントに気を付けて、みんなの考えをまとめることができる。
- 自分ができるようになったことに気付いたり、友達と互いのよさを認め合ったりすることができる。

3 単元で目指す子供の姿

| | |
|-----|---|
| 主体性 | 学習課題に興味をもって話し合い、見通しをもって粘り強く取り組もうとする。 |
| 協働性 | 友達とテーマに沿って話し合い、自分とは違う考えを受け止めたり、自分の考えを伝えたりして課題をよりよく解決しようとする。 |
| 創造性 | 交流学級や実生活で、相手の考えを受け止めたり自分の考えを伝えたりして、話し合いに進んで参加しようとする。 |

4 単元の位置とねらい

子供はこれまでに、自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いたりするときのポイントについて学習してきた。その中で自分の考えを少しずつ伝えられるようになってきたが、話し合いになると、相手の意思を確認せずに物事を決めたり、自分の考えを言わずに相手に合わせたりする姿が見られた。

そこで本活動では、時間内に話し合っただけで考えをまとめるゲームやレクリエーションの内容等を考える活動を通して、相手の考えに対する自分の考えを伝えたり、相手の意思を確認しながら考えをまとめたりできるようにする。また、活動を振り返ることで、互いの考えのよさを認め合ったりみんなで物事を決めることの達成感を味わったりすることができるようにする。

これらの活動を通して、相手の考えを受け止め自分の考えを伝えることのよさを感じることができると考える。さらに、交流学級での学習や実生活での話し合いに意欲をもって参加し、自信をもって自分の考えを伝えようとするできると考える。

5 指導計画（総時数7時間）

| 課程 | 時 | 学習課題 | 主な活動内容 |
|---------|---|----------------------|-----------------------------------|
| つかむ・見通す | 1 | 考えをまとめるときに大切なことを考えよう | 今までの自分を振り返り、考えをまとめるときに大切なことを考える。 |
| 活動する | 2 | ゲームにチャレンジしよう（本時） | ペアで、ゲームの中に出题されるテーマに沿った答えを決める。 |
| | 2 | ゲームを決めて遊ぶ | グループで、複数のゲームから一つを選んだり、ルールを考えたりする。 |
| 振り返る | 2 | お楽しみ会の計画を立てよう | 学級全員で、お楽しみ会の計画を立てる。 |

| | | |
|-------|-------------------|--|
| 新たな学び | 学級活動「係活動をして工夫しよう」 | もっとみんなが気持ちよく過ごすことができる学級にするため、今までの係活動を振り返り、どのような取り組みの工夫をしたらよいか話し合う。 |
|-------|-------------------|--|

6 本時（3／7）

(1) 目標

大切なポイント（「最後まで聞く」、「聞こえる声で話す」、「相手に（意思を）確かめる」）に気を付けて、時間内に考えをまとめることができる。

| | | |
|------|--------|--|
| 個人目標 | A児（4年） | 相手の考えを最後まで聞いて、考えをまとめることができる。 |
| | B児（4年） | 相手の考えに対して意思表示をしながら、話し合うことができる。 |
| | C児（4年） | ゲームの勝ち負けのみにこだわらず、協力して考えをまとめることができる。 |
| | D児（4年） | 自分の考えを伝え、相手の考えを確かめながら話し合うことができる。 |
| | E児（4年） | 自分の意見が通らないとき、気持ちを落ち着かせて最後まで話し合うことができる。 |
| | F児（5年） | 自分の考えを伝え、協力して考えをまとめることができる。 |
| | G児（5年） | 相手の考えを確かめながら、協力して考えをまとめることができる。 |
| | H児（5年） | 相手の考えを受け止めて、協力して考えをまとめることができる。 |

(2) 指導に当たって

ア 主体的な学びを実現する教師の手立て

話し合い活動におけるこれまでの自分の課題や前時の学習を、自己評価カードで振り返り、個人のめあてを立てることで、自分が学ぶことを明確にして活動に参加できるようにする。

イ 対話的な学びを実現する教師の手立て

子供の実態に応じて、自分の意思を伝える話型や相手の意思を確認する話型を提示することで、協力して考えをまとめられるようにする。また、話し合いの際は、普段の関わり合いの実態を考慮してペアを作り、安心して自分の考えを伝え合うようにする。

ウ 深い学びを実現する教師の手立て

振り返りの場面で、大切なポイントに着目して振り返ったり、友達の頑張りを伝え合ったりすることで、自分や友達の成果と課題を確認して、これからの学習や実生活に生かすようにする。

(3) 展開 □ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 聞く, 話す, 見る, 動く 学びを充実させるための活動 ◆ 評価に関すること ☆ ICT活用上の留意点

| 過程 (分) | 主な学習活動と予想される子供の反応 | 子供に応じた具体的な手立て |
|-----------------|---|--|
| つかむ・見通す (10) | <p>1 学習の流れを確認する。</p> <p>2 前時までの学習を振り返り、大切なポイントを確認する。見る</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後まで聞く 聞こえる声で話す 相手に確かめる <p>3 本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 本時のめあてを考える。</p> <p>ベスト3を予想して、みんなで一つの考えにまとめよう。</p> <p>(2) 個人のめあて(「今日頑張ること」)を決める。</p> <p>聞こえる声ではっきりと自分の考えを伝えるぞ。</p> <p>4 ゲームをする。話す 聞く 動く</p> <p>(1) ルールの確認をする。</p> <p>(2) 「ベスト3ゲーム」をする。</p> <p>① テーマにそったベスト3を自分で考える。</p> <p>② 自分の予想を伝え、ペアで話し合っって考えをまとめる。</p> <p>※ 正解数が多いチームが勝ち。</p> | <p>○ 「活動マップ」を提示することで、前時までの学習を想起し、本時の学習への意欲を高めるようにする。【主】</p> <p>○ 大切なポイントを確認したり、今日頑張ることを「できたかなカード」(自己評価カード)に書き込んだりすることで、自分のめあてを明確にして学習に取り組むようにする。【主】</p> <p>A児 大切なポイントを確認し、相手の考えを意識しながら話し合いを進めることができるようにする。</p> <p>B児 話型カードを提示し、友達の言葉掛けに対して自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>C児 友達と考えをまとめることができたことを称賛することで、勝ち負けだけにこだわらないようにする。</p> <p>D児 自分の考えをワークシートに書き、自信をもって伝えることができるようにする。</p> <p>E児 自分の意見が通らず興奮しているときには、個別に本人の気持ちを受け止め、落ち着いてから話し合うようにする。</p> <p>F児 教師と一緒に自分の考えをワークシートに書くことで、自信をもって自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>G児 話型カードをもとに、相手の考えを確かめながら考えをまとめることができるようにする。</p> <p>H児 大切なポイントを確認することで、相手の考えも大切にしながら話し合うことができるようにする。</p> |
| 活動する (25) | <p>□□だから○○が1位だと思ふよ。どうかな。</p> <p>なるほど、○○かもしれないね。</p> <p>大切なポイントに気を付けて、考えをまとめることができたかな？さあ、2問目にチャレンジしよう。</p> | <p>☆ ゲームの手順やルールを電子黒板に提示することで、見通しをもってゲームに参加できるようにする。【主】</p> <p>○ 自分の考えをまとめる時間を確保し、自分なりの考えをしっかりともらった上で話し合いに参加できるようにする。【主】</p> <p>○ ゲームでは子供にとって身近な題材のベスト3を考えることで、興味・関心を高めてより主体的に話し合いに参加できるようにする。【主】</p> <p>○ 自分の意思を伝えるときの話型「いいね」、「なるほど。」や、相手の意思を確認する話型「いいかな」、「どう思う？」などを提示することで、相手の意思を確認しながら自分の考えを伝えられるようにする。【対】</p> <p>○ 話し合いの際は、普段の関わり合いの実態を考慮してペアを作り、安心して自分の考えを伝え合うことができるようにする。【対】</p> |
| 振り返る (10) | <p>5 本時を振り返り、学習の感想や友達のよかったところを発表する。</p> <p>正解できなかったけれど、自分の考えを聞こえる声ではっきり伝えることができたのでよかったです。</p> <p>○○さんが、ぼくの考えを確かめながらまとめてくれたのでうれしかったです。</p> <p>6 次時の学習について知る。</p> <p>今度は、相手の考えを確かめながらまとめることに気を付けてみたい。</p> | <p>○ 1問目終了後、「大切なポイントに気を付けて、考えをまとめることができたかな。」と振り返りの言葉掛けをすることで、2問目では、更に大切なポイントを意識して考えをまとめられるようにする。【主】</p> <p>○ うまいかないペアには、「何に気を付けてまとめたらいいいかな。」と言葉掛けをする。【対】</p> <p>◆ 大切なポイントに気を付けて、話し合うことができていたか。</p> <p>○ 大切なポイントに着目して振り返り、友達の頑張りやよさを伝え合うことで、自分の学習の成果と課題を確認し、次時での自分のめあてを考えることができるようにする。【深】</p> <p>○ 子供の頑張りや称賛することで、達成感を味わい自信をもって実生活でも生かそうとすることができるようにする。【深】</p> |

「考えをまとめよう」本時（3／7）における授業想定シート

本時で期待される子供の姿

| | |
|-----|--|
| 主体性 | 自分の考えをしっかりとって、友達に伝えようとする。 |
| 協働性 | ベスト3の予想を伝え合い、相手の意思を確認しながら考えをまとめようとする。 |
| 創造性 | 相手の考えのよさに気付いたり、自分の考えを更に深めたりして、話し合うことのよさを感じている。 |

育成を目指す資質・能力

「最後まで聞く」、「聞こえる声で話す」、「相手に（意思を）確かめる」という大切なポイントに気を付けて、ペアの友達と考えをまとめることができる。

本時で働かせたい「見方・考え方」

見方（～に着目して）

考え方（思考の枠組み・方法）

大切なポイントに着目して、友達の考えを受け止めたり、自分の考えを伝えたりして、ペアで考えを比較したり、整理したりしながらまとめる。

見方・考え方を働かせた子供の発言の想定と教師の言葉掛け

課題解決で働く見方・考え方

4 ゲーム（「ベスト3ゲーム」）をする。



大切なポイントに気を付けて、ペアで相談しながら考えをまとめましょう。

- 教師が準備したカードから、ベスト3をペアで話し合っって選ぶ。



ぼくは、□□だから〇〇が1位だと思うよ。どうかな。

なるほど。ぼくは△△が1位だと思ってたけれど、考えが変わったよ。きみの考えに賛成するよ。



じゃあ1位は〇〇に決まりでいいね。でもぼくも△△もいいなと思ったよ。2位は△△にしよう。どうかな。

ありがとう。じゃあ、△△にしよう。

5 本時を振り返り、学習の感想や友達のよかったところを発表する。



ぼくは、友達の考えを聞いて自分の考えが変わりました。そのことを友達に聞こえる声ではっきりと伝えられたのがよかったと思います。

友達と考えが違ったときに、自分の考えばかり伝えてしまいました。今度は友達の考えをしっかりと聞いたり、一緒に考えたりしたいです。



〇〇さんが、ぼくの考えをよく聞いてくれたり、確かめながらまとめてくれたりしたのでうれしかったです。



大切なポイントに気を付けて、話し合いをすることで仲良く考えをまとめることができましたね。今日の振り返りを基に、次の学習で頑張ることを考えておきましょう。

大切なポイントに着目して、自分の考えを伝えたり、相手の意思を確認したりすることができる。

大切なポイントに着目して、自分の行動と関係付けて振り返ることができる。

大切なポイントに着目して、本時に達成できなかった課題を関係付けて振り返ることで、今後の自分の行動を考えることができる。

振り返りにおいて期待される子供の発言や記述

- 聞こえる声で、自分の考えを伝えることができよかったです。
- 友達の考えを確かめながら考えをまとめることができたので、楽しくゲームができました。
- 話し合うことで、友達の考えのよさを知ることができました。
- 友達が私の考えを最後までしっかりと聞いてくれたのが、うれしかったです。